

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●宝塚記念はイクイノックスが1番人気に应运して優勝

6月25日(日)に行われた宝塚記念(G I)では、ファン投票で歴代最多となる21万6379票を集めたイクイノックス(牡4歳/美浦・木村哲也厩舎)が、単勝オッズ1.3倍の1番人気に应运して勝利しました。ファン投票1位の馬の勝利は3年連続17度目。前年の有馬記念優勝馬による勝利は史上8頭目で、宝塚記念と有馬記念の双方を制した馬は史上16頭目となります。

●木幡巧也騎手がJRA通算200勝を達成

6月24日(土)の3回東京7日・第1レースではアウピキングが1着となり、同馬に騎乗した木幡巧也騎手(美浦・牧光二厩舎)は、現役63人目となるJRA通算200勝(4510戦目)を達成しました。

●三浦皇成騎手がJRA通算1000勝を達成

6月24日(土)の3回東京7日・第5レースではヴェロキラプトルが1着となり、同馬に騎乗した三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)は、史上42人目、現役では22人目となるJRA通算1000勝(1万1151戦目)を達成しました。

●松永康利調教師がJRA通算100勝を達成

6月24日(土)の3回東京7日・第3レースではメモリーグラスが1着となり、同馬を管理する松永康利調教師(美浦)は、現役151人目となるJRA通算100勝(延べ3177頭目)を達成しました。

●田村康仁調教師がJRA通算600勝を達成

6月25日(日)の3回東京8日・第2レースではシルバーニースが1着となり、同馬を管理する田村康仁調教師(美浦)は、現役18人目となるJRA通算600勝(延べ7396頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●メイショウハリオが帝王賞(大井)で史上初の連覇達成

帝王賞(Jpn I、6月28日、大井、2000^円)は、9番手から追い上げた2番人気のメイショウハリオ(浜中俊騎手、牡6歳、父パイロ)が、先に抜け出したクラウンプライドをゴール寸前でハナ差捉えめました。1番人気のテーオーケインズはアタマ差の3着、ハギノアレグリアスは4着、逃げた3番人気のプロミストウオリアは5着、ジュンライトボルトは7着、ノットゥルノは8着でした。

●栄冠賞(門別)は1番人気のストリーム【各地の主要2歳重賞】

今年全国最初の2歳重賞となる栄冠賞(6月27日、門別、1200^円)は、3番手を進んだストリーム(牡、父ダノンレジェンド)がゴール前100^円標識の手前で差し切り、無傷の3連勝を達成しました。

●石川ダービーは無敗のショウガタツプリ【各地の主要3歳重賞】

石川ダービー(6月27日、金沢、2000^円)は、4番手から2周目3コーナー過ぎに抜け出したショウガタツプリ(牝、父エスポワールシチー)が後続を4馬身引き離し、単勝1.3倍の圧倒的支持に应运してデビュー以来の連勝を10に伸ばしています。

●グランブリッジらが参戦、7月5日のスパーキングレディーC

スパーキングレディーC(Jpn III、7月5日、川崎、1600^円)は、58^{kg}が鍵もダートグレード競走4勝のグランブリッジが中心、以下スピーディキック(浦和)、レディバグ、タガノクリステル、エナハツホまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ロイヤルアスコット開催～モスターダフがG 1初制覇

イギリス王室が主催するロイヤルアスコット開催がロンドン郊外のアスコット競馬場で現地6月20日～24日までの5日間にわたって行われました。

最終日のG 1クイーンエリザベス二世ジュビリーS(昨年9月に逝去したエリザベス女王の功績を称えてプラチナムジュビリーSから改称)と並び、8つのG 1を含む35レースが組まれたこの開催の中では最高賞金(総賞金100万^{ポンド}＝約1億7100万円/1^{ポンド}171円で換算)を誇る2日目のG 1プリンスオブウェールズS(4歳上、芝1990^m)では、J. クローリー騎手が手綱を取ったモスターダフ(牡5歳、父フランケル、J&T. ゴスデン厩舎)が昨年のG 1愛チャンピオンS勝ち馬ルクセンブルクや昨年の英ダービー馬アダイヤーなどを相手に鮮やかな追い込みを決めて優勝。G 1初制覇を果たしました。また3日目に行われたキングジョージV世S(3歳、芝2390^m)ではデザートヒーロー(牡3歳、父シーザスターズ、W. ハガス厩舎)がT. マーカンド騎手とのコンビで優勝。馬主のチャールズ国王とカミラ王妃にロイヤルアスコット開催初勝利をもたらしました。なお、デザートヒーローはエリザベス女王の生産馬です。